

第3回山口県産業技術振興奨励賞

山口県知事賞

株式会社ストロベリーメディアアーツ

住 所 下関市

業 種 通信機械器具レンタル・製造業

映像・音声・文字情報制作業

代 表 者 代表取締役CEO まつい 松井 まさひこ 雅彦

代表者年齢 50歳



受賞理由

「高精細・超軽量LED表示装置の開発」

創業以来、映像・音響装置のレンタル、イベント演出や設営を行う事業を展開していたが、これまで使用していた他社製の大型映像表示装置の重量や画質に不満を感じ、自社開発を開始、大型映像表示装置の開発製造事業に参入した。

既存の大型映像装置は、屋外広告用が主であったため、重くかつ映像の精細さに欠けており、設置方法の自由度が低く、運搬・設置に多くの作業時間を要していた。

開発の過程において高画質化を図るため、映像を表示するLEDを砲弾型から表面実装型（SMD：1チップにRGB3原色が入っているもの）に変更し、また軽量化を図るためフレーム材質を従来のスチール製からポリフタルアミドとグラスファイバーの複合材に変更、さらにはLED配列の隙間にスリットを入れることで、既存品と比較して80%の重量削減に成功し、作業効率や画質向上により画期的な大型映像表示装置を上市した。その後も、屋外での使用に耐えうる輝度をもつLEDの採用や、ドット間に特殊加工を施し太陽や照明からの光の反射を低減させる技術の開発などを行い、次々と新たな製品を世に送り出している。

軽量化や画質向上により、大型表示装置を用いた演出の幅が広がったことで放送関係やコンサート主催者はもとより、建設関係等からの引き合いが来るなど、顧客層も広がりを見せてきているほか世界的な展示会に積極的に出展することで、海外市場への販売も視野に入れている。

現在は、技術開発を主とする関連会社を設立し、県内外の大学や企業、山口県産業技術センターとの連携を深め、さらなる軽量化や画質向上、新たな技術を取り入れた映像表示装置の開発などに意欲的に取り組んでいる。

今後は、大型映像表示装置の事業拡大が見込まれるとともに、他の映像関連分野への新たな事業展開が期待される。

